

第2学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 自分の弱さの克服 内容項目:D- (22) よりよく生きる喜び
- 2 ねらい 自分の弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を育む。
- 3 資料名 「自分の弱さと戦え」
- 4 指導の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1. 自分自身の「弱さ」とは、なんだろうか。</p>	<p>1. 3分程度、時間をとって考えさせるが、挙手をさせて答えさせるなどはしない。</p>
展開	<p>2. 車椅子テニスの選手 国枝慎吾さんについて知る。</p> <p>3. 教材「自分の弱さと戦え」を範読する。</p> <p>発問①国枝さんが当初、なぜ勝てなかつたのだろうか。 <予想される生徒の考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルの弱さ ・空回りしていたから 他 <p>発問②クインさんは、なぜ「俺は最強だ！」と叫ばせたのだろうか。 <予想される生徒の答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の壁を壊すため ・自分自身を信じさせるため 他 <p>発問③世界1位になったあと、自分の未熟さに気づいて、自分自身を変えたのはどう考えたからだろうか。 <予想される生徒の考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと強くなりたいから ・自分の未熟さに気づいたから ・自分自身に勝ちたいから 他 	<p>2. 国枝さんの写真や動画を活用し、紹介する。車椅子テニスのルールも簡単に説明する。</p> <p>3. 世界一位の国枝さんにも苦しい時代があったということに共感させる。</p> <p>4. 人前で叫ぶことは恥ずかしいという気持ちをとらえさせたい。その上で、「自分ならできるか」ということを問う。</p> <p>○道徳的価値に迫る中心発問なので、自分の弱さを認め、それを乗り越える強さ」に国枝さんが気づいた点を押さえる。「ラケットを握る手に新たな力が宿った気がした。」という表現に注目させる。</p>
まとめ	<p>5. 今日の学習を振り返る。</p> <p>発問④自分の弱さを克服するためにどんなことが大切だろうか。</p>	<p>5. 導入の発問の答えを踏まえ、その自分の弱さを克服するためには何が大切か考えさせたい。</p>

5 評価

- 自分自身の弱さを見つめることができたか。
- 自分自身の弱さを克服し、強さへと変えていくこうとする気持ちが発言や記述から見られたかどうか。

6 他教科等との関連

保健体育、オリンピック・パラリンピック教育